愛媛大学医学部附属病院を受診している患者さんへ

研究に対するご協力のお願い

当院では、医学・医療の発展のために様々な研究を行っています。この研究は、愛媛大学医学部附属病院の臨床研究倫理審査委員会での審査・承認後、当院で病院長の許可を受けて実施しております。

今回の研究では、患者さんのカルテの記録を使用します。

研究の内容を詳しく知りたい方や、カルテの情報を利用してほしくない方は、以下のお問い合わせ先までご連絡下さい。ただし、研究結果が出た後など研究の対象から削除できない場合もありますのでご了承ください。

※試料・情報の利用を拒否された場合でも、あなたが不利益を受けることはありません。

研究課題名	わが国における非小細胞肺癌に対する単孔式胸腔鏡下肺葉切除術の予後に関する多機関共同後ろ向きコホート研究
研究機関名	関西医科大学総合医療センター
試料・情報の提供を行う研究機関の長	関西医科大学総合医療センター 病院長 杉山　隆 （試料・情報の提供元の管理責任者）
試料・情報の提供を行う研究機関の研究責任者（個人情報管理者）	心臓血管・呼吸器外科学　　杉原　貴仁
研究期間	研究機関の長の許可日　～　2028 年 12 月 31 日

対象となる方	2018 年 4 月 1 日から 2023 年 3 月 31 日に当院を受診された方のうち非小細胞肺癌で単孔式胸腔鏡下肺葉切除術を受けられた患者さん
利用する試料・情報等	（追加で利用するカルテ情報）術前治療施行の有無、併存疾患、局所再発の有無、局所再発日、局所再発部位、遠隔再発の有無、遠隔再発日、遠隔再発部位、転帰、死亡日、死因、最終確認日　等
研究の概要 （目的・方法）	2011 年に非小細胞肺癌に対する単孔式胸腔鏡下肺切除術が初めて報告されました。以後、本術式は欧州やアジアを中心に急速に普及してきています。この方法は、美容面で非常に優れており、また術後疼痛の軽減、術後回復が早いことが多く示されていますが、中・長期の予後に関する報告は依然として不足しています。 そこで本研究では、非小細胞肺癌に対する単孔式胸腔鏡下肺葉切除術の中・長期予後を明らかにすることを目的としています。 そのため、皆様のカルテの中から、前回の「本邦における単孔式胸腔鏡下解剖学的肺切除の周術期成績に関する実態調査：多施設共同後方視的研究」の際にいただいたデータに追加して、主に予後に関する情報を新たにピックアップして使用させていただきます。
個人情報の保護について	この研究で収集される試料・情報等は氏名、住所、生年月日など患者さんを直接特定できる情報を削除して誰のものかわからないようにした上で利用いたします。患者さんを特定するための情報（対応表）は、院内で個人情報管理者が厳重に保管し外部への提供は行いません。提供先が外国の研究機関や外国の企業の場合には、その国での個人情報の保護規定が定められていることを確認した上で、個人を特定できる情報を含まない形で提供します。 また、保管される試料・情報等を新たな研究に利用する場合は、新たな研究として倫理審査委員会に申請し、承認されてから利用いたします。なお、研究結果は学術雑誌や学会等で発表される予定ですが、発表内容に個人を特定できる情報は一切含まれません。
お問い合わせ先	関西医科大学総合医療センター 呼吸器外科 金田 浩由紀

	〒 570-8507　大阪府守口市文園町 10 番 15 号 電話　06-6992-1001（代表）56167

【共同研究について】

　この研究は、以下に記載の他の病院や研究施設と共同で行っています。

対象となる患者さんの試料・情報等は、氏名や住所、生年月日など患者さんを直接特定できる情報を除いた上で、記録媒体を主管機関である愛媛大学医学部附属病院に提供します。多くの情報を解析することで、医学・医療の発展に役立つ成果が得られることが期待されます。

【研究組織】

研究代表者	南松山病院　呼吸器センター　佐野由文
共同研究機関	藤田医科大学岡崎医療センター、前橋赤十字病院、北海道がんセンター、東京都立墨東病院、聖隷三方原病院、南松山病院、NTT 東日本札幌病院、大阪大学、鹿児島大学、山口宇部医療センター、獨協医科大学、山形大学、都城医療センター、天理よろづ相談所病院、金沢大学、徳島大学、豊橋市民病院、高知病院、三重中央医療センター、済生会松阪市民病院、名古屋市立大学医学部附属西部医療センター、大分赤十字病院、八尾徳洲会総合病院、呉病院、北海道大学、宮城県立がんセンター、岡山大学、仙台医療センター、倉敷中央病院、福岡青洲会病院、新座志木中央総合病院、関西医科大学総合医療センター、福岡大学、滋賀医科大学、獨協医科大学埼玉医療センター、熊本赤十字病院